

平成 30 年度

高梁市 一般会計
特別会計 決算説明資料

高 梁 市

目 次

1	平成30年度決算総括表	1
2	一般会計歳入款別決算額対前年度比較表	2
3	一般会計歳出款別決算額対前年度比較表	3
4	普通会計性質別歳出決算状況	4
5	普通会計款別普通建設事業の状況	5
6	普通会計一般財源の充当状況	6
7	普通会計市債の状況	7
8	市税収納実績及び負担状況	8
9	歳入歳出予算に対する過不足状況	9

1 平成30年度決算総括表

一般会計歳入決算額27,467,727千円から歳出決算額25,960,647千円を差引いた形式収支は1,507,080千円、実質収支は791,335千円となる。

(単位：円 %)

会計別	予算現額	歳入決算額		歳出決算額		繰越事業費 繰越財源	実質収支	備考
		金額	収入率	金額	執行率			
一般会計	29,870,026,264	27,467,726,979	92.0	25,960,646,799	86.9	715,745,600	791,334,580	
特別会計	14,868,990,736	13,888,198,066	93.4	13,779,356,489	92.7	31,203,000	77,638,577	
国民健康保険(事業)	3,930,554,000	3,913,851,505	99.6	3,832,556,778	97.5	0	81,294,727	
国民健康保険(直診)	73,257,000	72,472,716	98.9	72,472,716	98.9	0	0	
へき地診療所	17,538,000	16,257,214	92.7	16,257,214	92.7	0	0	
後期高齢者医療	503,821,000	500,921,439	99.4	499,375,139	99.1	0	1,546,300	
介護保険(事業)	4,906,294,000	4,889,906,654	99.7	4,844,959,832	98.7	0	44,946,822	
介護保険(サービス)	99,786,000	98,899,695	99.1	98,785,335	99.0	0	114,360	
養護老人ホーム	1,620,933,736	1,450,369,399	89.5	1,445,396,798	89.2	2,650,000	2,322,601	
特別養護老人ホーム	258,187,000	254,128,673	98.4	254,128,673	98.4	0	0	
住宅新築資金等貸付事業	73,110,000	2,354,414	3.2	73,107,654	100.0	0	△ 70,753,240	繰上充用
畑地かんがい事業	26,161,000	26,065,716	99.6	25,396,880	97.1	0	668,836	
簡易水道事業	1,326,473,000	1,194,758,321	90.1	1,194,583,321	90.1	175,000	0	
下水道事業	2,006,714,000	1,443,387,095	71.9	1,420,157,095	70.8	23,230,000	0	
地域開発事業	19,159,000	19,158,678	100.0	152,172	0.8	5,148,000	13,858,506	
巨瀬財産区	1,778,000	780,059	43.9	780,059	43.9	0	0	
宇治財産区	4,885,000	4,701,418	96.2	1,061,753	21.7	0	3,639,665	
有漢財産区	340,000	185,070	54.4	185,070	54.4	0	0	
合計	44,739,017,000	41,355,925,045	92.4	39,740,003,288	88.8	746,948,600	868,973,157	

2 一般会計歳入款別決算額対前年度比較表

一般会計歳入決算額は27,467,727千円で、前年度より3,726,164千円（15.7%）の増となっている。

（単位：千円 %）

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度増減率
	平成29年度	平成30年度	増 減 額	29年度	30年度	
市 税	3,866,592	3,916,789	50,197	16.3	14.3	1.3
地 方 譲 与 税	312,389	314,873	2,484	1.3	1.2	0.8
利 子 割 交 付 金	7,358	6,986	△ 372	0.0	0.0	△ 5.1
配 当 割 交 付 金	19,103	14,440	△ 4,663	0.1	0.1	△ 24.4
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	18,356	11,659	△ 6,697	0.1	0.1	△ 36.5
地 方 消 費 税 交 付 金	598,568	610,979	12,411	2.5	2.2	2.1
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	8,712	7,711	△ 1,001	0.0	0.0	△ 11.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	80,636	91,504	10,868	0.3	0.3	13.5
地 方 特 例 交 付 金	9,221	10,528	1,307	0.0	0.0	14.2
地 方 交 付 税	9,851,971	10,441,929	589,958	41.5	38.0	6.0
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,199	3,625	△ 574	0.0	0.0	△ 13.7
分 担 金 及 び 負 担 金	95,979	99,884	3,905	0.4	0.4	4.1
使 用 料 及 び 手 数 料	497,119	477,312	△ 19,807	2.1	1.7	△ 4.0
国 庫 支 出 金	2,037,408	1,928,085	△ 109,323	8.6	7.0	△ 5.4
県 支 出 金	1,045,282	1,415,046	369,764	4.4	5.2	35.4
財 産 収 入	80,980	53,590	△ 27,390	0.4	0.2	△ 33.8
寄 附 金	34,892	603,106	568,214	0.1	2.2	1,628.5
繰 入 金	1,173,130	2,535,856	1,362,726	5.0	9.2	116.2
繰 越 金	816,882	664,878	△ 152,004	3.5	2.4	△ 18.6
諸 収 入	470,534	586,506	115,972	2.0	2.1	24.6
市 債	2,712,252	3,672,441	960,189	11.4	13.4	35.4
歳 入 合 計	23,741,563	27,467,727	3,726,164	100.0	100.0	15.7
自 主 財 源	7,036,108	8,937,921	1,901,813	29.6	32.5	27.0
依 存 財 源	16,705,455	18,529,806	1,824,351	70.4	67.5	10.9

3 一般会計歳出款別決算額対前年度比較表

一般会計歳出決算額は25,960,647千円で、前年度より2,883,962千円（12.5%）の増となっている。

（単位：千円 %）

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度増減率
	平成29年度	平成30年度	増 減 額	29年度	30年度	
議 会 費	186,923	178,293	△ 8,630	0.8	0.7	△ 4.6
総 務 費	3,562,419	3,860,024	297,605	15.4	14.9	8.4
民 生 費	5,876,153	6,947,743	1,071,590	25.5	26.7	18.2
衛 生 費	2,040,401	2,434,139	393,738	8.9	9.4	19.3
労 働 費	53,601	49,251	△ 4,350	0.2	0.2	△ 8.1
農 林 水 産 業 費	1,044,613	1,139,191	94,578	4.5	4.4	9.1
商 工 費	299,202	258,284	△ 40,918	1.3	1.0	△ 13.7
土 木 費	2,162,887	1,623,611	△ 539,276	9.4	6.2	△ 24.9
消 防 費	836,884	780,576	△ 56,308	3.6	3.0	△ 6.7
教 育 費	2,915,250	2,848,575	△ 66,675	12.6	11.0	△ 2.3
災 害 復 旧 費	460,672	2,178,925	1,718,253	2.0	8.4	373.0
公 債 費	3,637,680	3,662,035	24,355	15.8	14.1	0.7
諸 支 出 金	0	0	0	0.0	0.0	
合 計	23,076,685	25,960,647	2,883,962	100.0	100.0	12.5

4 普通会計性質別歳出決算状況

平成30年度の性質別歳出の状況は、義務的経費10,372,294千円(38.2%)、消費的経費5,901,084千円(21.6%)、投資的経費6,064,758千円(22.2%)、その他4,874,536千円(18.0%)であり、前年度との比較では義務的経費1.7%、消費的経費11.8%、投資的経費47.6%、その他24.7%の増となっている。

(単位：千円 %)

区 分	決 算 額			決 算 構 成 比		対前年度 増減率
	平成29年度	平成30年度	増 減 額	平成29年度	平成30年度	
人 件 費	3,928,944	3,934,819	5,875	16.7	14.5	0.1
扶 助 費	2,625,826	2,771,908	146,082	11.2	10.2	5.6
公 債 費	3,640,339	3,665,567	25,228	15.5	13.5	0.7
義務的経費計	10,195,109	10,372,294	177,185	43.4	38.2	1.7
物 件 費	2,992,621	3,001,222	8,601	12.7	11.0	0.3
維持補修費	165,399	146,402	△ 18,997	0.7	0.5	△ 11.5
補助費等	2,119,144	2,753,460	634,316	9.0	10.1	29.9
消費的経費計	5,277,164	5,901,084	623,920	22.4	21.6	11.8
普通建設事業費	3,615,967	3,826,692	210,725	15.4	14.0	5.8
補 助	1,514,605	1,584,740	70,135	6.5	5.8	4.6
単 独	2,101,362	2,241,952	140,590	8.9	8.2	6.7
災害復旧費	491,646	2,238,066	1,746,420	2.1	8.2	355.2
投資的経費計	4,107,613	6,064,758	1,957,145	17.5	22.2	47.6
積 立 金	714,164	1,834,118	1,119,954	3.1	6.8	156.8
投資出資貸付金	220,857	127,643	△ 93,214	0.9	0.5	△ 42.2
繰 出 金	2,973,256	2,912,775	△ 60,481	12.7	10.7	△ 2.0
そ の 他 計	3,908,277	4,874,536	966,259	16.7	18.0	24.7
歳 出 合 計	23,488,163	27,212,672	3,724,509	100.0	100.0	15.9

5 普通会計款別普通建設事業の状況

普通建設事業における補助事業費は、1,584,740千円、単独事業費は、2,241,952千円、全体で3,826,692千円となり、前年度との比較では210,725千円（5.8%）の増額となった。

(単位：千円)

区 分	平成 29 年 度			平成 30 年 度		
	補助事業	単独事業	計	補助事業	単独事業	計
総 務 費	13,500	168,804	182,304	0	201,583	201,583
民 生 費	393,213	191,876	585,089	1,212,026	443,127	1,655,153
衛 生 費	26,658	32,136	58,794	19,845	11,402	31,247
農 林 水 産 業 費	11,700	312,028	323,728	17,318	208,939	226,257
商 工 費	56,139	34,563	90,702	4,775	15,979	20,754
土 木 費	713,451	529,389	1,242,840	134,532	566,834	701,366
消 防 費	97,686	63,864	161,550	26,309	60,074	86,383
教 育 費	202,258	767,676	969,934	169,935	734,014	903,949
そ の 他	0	1,026	1,026	0	0	0
合 計	1,514,605	2,101,362	3,615,967	1,584,740	2,241,952	3,826,692

6 普通会計一般財源の充当状況

一般財源充当状況の構成比は、義務的経費46.3%、投資的経費6.6%、消費的経費25.1%、その他22.0%となっており、前年度との比較では総額で1,268,620千円（7.7%）の増額となっている。

(単位：千円 %)

区 分	平成 29 年 度		平成 30 年 度		対前年度 増減率
	充 当 額	構 成 比	充 当 額	構 成 比	
義務的経費	7,993,913	48.5	8,209,248	46.3	2.7
人件費	3,697,866	22.4	3,673,809	20.7	△ 0.7
扶助費	773,504	4.7	967,120	5.5	25.0
公債費	3,522,543	21.4	3,568,319	20.1	1.3
投資的経費	1,028,241	6.3	1,176,899	6.6	14.5
普通建設事業費	689,976	4.2	558,246	3.1	△ 19.1
災害復旧事業費	338,265	2.1	618,653	3.5	82.9
消費的経費	4,098,058	24.8	4,465,249	25.1	9.0
そ の 他	3,371,426	20.4	3,908,862	22.0	15.9
合 計	16,491,638	100.0	17,760,258	100.0	7.7

7 普通会計市債の状況

前年度末の現在額は、31,737,306千円となっており、平成30年度の借入額が4,799,941千円、元金償還額が3,459,721千円で、差引現在額33,077,526千円となっている。また、このうち借入先の内訳は、政府資金22,649,990千円、公庫等の資金10,427,536千円となっている。

(単位：千円)

区 分	29年度末 現在額	30年度 発行額	平成30年度元利償還額			30年度末 差引現在額	借 入 先	
			元 金	利 子	計		政 府	そ の 他
一 般 公 共 事 業	165,618	0	31,433	1,895	33,328	134,185	115,185	19,000
一 般 単 独 事 業	7,844,531	1,892,300	1,374,728	69,773	1,444,501	8,362,103	104,992	8,257,111
公営住宅建設事業	508,674	0	86,847	8,596	95,443	421,827	311,034	110,793
義務教育施設事業	479,347	14,900	63,123	7,234	70,357	431,124	377,556	53,568
辺地対策事業	400,337	54,900	79,354	1,331	80,685	375,883	375,883	0
災害復旧事業	1,078,945	1,209,600	150,420	2,555	152,975	2,138,125	2,138,125	0
単 独 災 害	202,918	816,400	31,424	504	31,928	987,894	987,894	0
補 助 災 害	876,027	393,200	118,996	2,051	121,047	1,150,231	1,150,231	0
過疎対策事業	9,555,900	1,037,200	687,005	24,972	711,977	9,906,095	9,906,095	0
財源対策債	355,361	0	88,499	5,550	94,049	266,862	57,918	208,944
臨時財政対策債	9,293,840	591,041	697,654	46,897	744,551	9,187,227	8,480,581	706,646
そ の 他	2,054,753	0	200,658	35,411	236,069	1,854,095	782,621	1,071,474
合 計	31,737,306	4,799,941	3,459,721	204,214	3,663,935	33,077,526	22,649,990	10,427,536

(参 考)

その他の特別会計	12,816,412	676,600	1,015,685	214,638	1,230,323	12,477,327	8,967,778	3,509,549
企業会計	851,615	69,600	75,912	9,973	85,885	845,303	779,503	65,800
全会計合計	45,405,333	5,546,141	4,551,318	428,825	4,980,143	46,400,156	32,397,271	14,002,885

8 市税収納実績及び負担状況

平成30年度市税収入額は、前年度と比較し49,562千円(1.3%)の増となっている。また、市税の税目別負担状況は、前年度との比較で1人当たり4,021円(3.2%)、1世帯当たり3,885円(1.5%)の増となっている。

(単位：千円 %)

区 分	調定額			収入額			収納率			前年度比(収入額)		
	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度
市 民 税	1,540,199	1,526,802	1,544,713	1,476,324	1,476,744	1,499,007	95.9	96.7	97.0	△6.0	0.0	1.5
固 定 資 産 税	2,025,632	2,088,481	2,116,833	1,908,274	1,977,672	2,008,923	94.2	94.7	94.9	3.2	3.6	1.6
軽自動車税	127,715	131,164	133,609	116,368	119,819	121,901	91.1	91.4	91.2	20.7	3.0	1.7
たばこ税	188,292	175,704	173,093	188,292	175,704	173,093	100.0	100.0	100.0	△4.1	△6.7	△1.5
鉱 産 税	219	196	144	219	196	144	100.0	100.0	100.0	23.0	△10.5	△26.5
都市計画税	123,845	123,204	119,451	116,065	116,047	112,676	93.7	94.2	94.3	0.3	0.0	△2.9
合 計	4,005,902	4,045,551	4,087,843	3,805,542	3,866,182	3,915,744	95.0	95.6	95.8	△0.6	1.6	1.3

(単位：円 %)

区 分	28年度		29年度		30年度		対前年度増減率					
	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり	1世帯当たり	1人当たり			1世帯当たり		
	(31,556人)	(14,519世帯)	(30,955人)	(14,435世帯)	(30,374人)	(14,411世帯)	28年度	29年度	30年度	28年度	29年度	30年度
市 民 税	46,784	101,682	47,706	102,303	49,352	104,018	△4.5	2.0	3.5	△5.5	0.6	1.7
固 定 資 産 税	60,472	131,433	63,889	137,005	66,139	139,402	4.8	5.7	3.5	3.7	4.2	1.7
軽自動車税	3,688	8,015	3,871	8,301	4,013	8,459	22.6	5.0	3.7	21.3	3.6	1.9
たばこ税	5,967	12,969	5,676	12,172	5,699	12,011	△2.6	△4.9	0.4	△3.7	△6.1	△1.3
鉱 産 税	7	15	6	14	5	10	40.0	△14.3	△16.7	25.0	△6.7	△28.6
都市計画税	3,678	7,994	3,749	8,039	3,710	7,819	1.9	1.9	△1.0	0.7	0.6	△2.7
合 計	120,596	262,108	124,897	267,834	128,918	271,719	1.0	3.6	3.2	△0.1	2.2	1.5

()内は年度末人口、世帯数を示す

9 歳入歳出予算に対する過不足状況

一般会計

(歳 入)

(目・100万円以上 単位:千円)

款	項	目	過不足額	理 由
市 税	市 民 税	個 人	8,284	収納実績が見込みを上回ったため
	固 定 資 産 税	固 定 資 産 税	13,679	収納実績が見込みを上回ったため
	市 た ば こ 税	市 た ば こ 税	1,393	収納実績が見込みを上回ったため
地 方 譲 与 税	地 方 揮 発 油 譲 与 税	地 方 揮 発 油 譲 与 税	3,615	譲与税の確定による
	自 動 車 重 量 譲 与 税	自 動 車 重 量 譲 与 税	7,336	譲与税の確定による
配 当 割 交 付 金	配 当 割 交 付 金	配 当 割 交 付 金	△ 2,169	交付金の確定による
地 方 交 付 税	地 方 交 付 税	地 方 交 付 税	519,727	特別交付税の確定による
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	△ 2,475	交付金の確定による
分 担 金 及 び 負 担 金	分 担 金	災 害 復 旧 事 業 費 分 担 金	△ 27,662	繰越措置による
	負 担 金	民 生 費 負 担 金	△ 1,171	保育園保育料の収納実績が見込みを下回ったため
使 用 料 及 び 手 数 料	使 用 料	民 生 使 用 料	△ 1,373	保育園・こども園保育料の収納実績が見込みを下回ったため
		土 木 使 用 料	1,094	住宅使用料が見込みを上回ったため
		教 育 使 用 料	5,441	文化施設等の使用料が見込みを上回ったため
	手 数 料	衛 生 手 数 料	△ 1,796	し尿処理の手数料が見込みを下回ったため
国 庫 支 出 金	国 庫 補 助 金	災 害 復 旧 費 国 庫 負 担 金	△ 717,304	繰越措置による
		民 生 費 国 庫 補 助 金	△ 6,649	子ども子育て支援交付金が見込みを下回ったため
		衛 生 費 国 庫 補 助 金	△ 86,088	繰越措置による
		商 工 費 国 庫 補 助 金	△ 3,204	繰越措置等による
		土 木 費 国 庫 補 助 金	△ 31,724	繰越措置による
		教 育 費 国 庫 補 助 金	△ 25,448	繰越措置による
災 害 復 旧 費 国 庫 補 助 金	167,471	災害査定用設計委託事業補助金が見込みを上回ったため		
県 支 出 金	県 補 助 金	民 生 費 県 負 担 金	△ 36,769	応急修理の事業費が見込みを下回ったため
		民 生 費 県 補 助 金	△ 17,774	子ども子育て支援交付金が見込みを下回ったため
		衛 生 費 県 補 助 金	△ 38,460	当初、斎場災害復旧費補助金は県費補助金とされていたが、国から直接交付されたため
		農 林 水 産 業 費 県 補 助 金	△ 35,651	被災農業者向け経営体育成支援事業の繰越措置による
		災 害 復 旧 費 県 補 助 金	△ 504,463	繰越措置による
県 委 託 金	総 務 費 県 委 託 金	△ 1,926	歳出実績が見込みを下回ったため	
財 産 収 入	財 産 売 払 収 入	不 動 産 売 払 収 入	△ 3,407	先着順随意契約物件について、購入希望者がいなかったため
寄 附 金	寄 附 金	教 育 費 寄 附 金	△ 9,362	当初寄附を予定していたが変更となったため
繰 入 金	基 金 繰 入 金	基 金 繰 入 金	△ 17,774	事業費が見込みを下回ったため
諸 収 入	延 滞 金、加 算 金 及 び 過 料	延 滞 金	1,381	収納実績が見込みを上回ったため
		貸 付 金 元 利 収 入	△ 1,495	実績が見込みを下回ったため
		受 託 事 業 収 入	△ 70,796	繰越措置等による
		雑 収 入	△ 15,915	繰越措置による

款	項	目	過不足額	理 由
市債	市債	土 木 債	△ 26,000	繰越措置による
		教 育 債	△ 63,200	繰越措置による
		災 害 復 旧 債	△ 986,100	繰越措置による
		過 疎 対 策 債	△ 179,900	繰越措置による
		合 併 特 例 債	△ 212,400	繰越措置による

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由	
議 会 費 総 務 費	議 会 費 総 務 管 理 費	議 会 費	4,699	政務活動費等の実績が見込みを下回ったため	
		一 般 管 理 費	31,541	退職者数が見込みを下回ったため	
		財 産 管 理 費	3,771	機構改革等に伴うIP電話設定委託料等が見込みを下回ったため	
		企 画 費	5,387	ふるさと応援寄付金が見込みを下回り、基金積立金等が減ったため	
		災 害 対 策 費	1,127	職員手当等が見込みを下回ったため	
		地 域 局 費	1,776	補助金の申請が見込みを下回ったため 需用費等の経費節減に努めたため	
		地 域 振 興 費	25,233	各地域まちづくり協議会が行う地域振興交付金事業及び空き家活用補助金の申請が見込みを下回ったため	
		交 通 安 全 対 策 費	1,497	補助金の申請が見込みを下回ったため	
		通 信 施 設 費	1,280	防災ラジオの申請台数が見込みを下回ったため	
		情 報 管 理 費	3,413	基幹系システムの電算処理料が見込みを下回ったため	
		諸 費	2,875	平川郷地区陥没被害復興支援事業において、当初の見込みより陥没による被害が少なかったため	
		徴 税 費	税 務 総 務 費	2,555	過誤納還付金等が見込みを下回ったため
		戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費	1,203	超過勤務手当が見込みを下回ったため またマイナンバーカードの交付実績が見込みを下回ったことによる負担金の減
		選 挙 費	県 議 会 議 員 選 挙 費	2,170	臨時職員の採用により、一般職の超過勤務手当が見込みを下回ったため 需用費等の経費節減に努めたため ポスター掲示場の設置業務委託料が見込みを下回ったため
		民 生 費	社 会 福 祉 費	社 会 福 祉 総 務 費	52,703
老 人 福 祉 費	26,628			養護老人ホーム等の特別会計への繰出金が見込みを下回ったため	
介 護 保 険 総 務 費	20,078			介護保険特別会計の保険給付費及び地域支援事業費等が見込みを下回り、法定繰出金が減少したため	
児 童 福 祉 費	児 童 福 祉 総 務 費			16,232	学童保育の委託実績が見込みを下回ったため
	児 童 措 置 費			1,801	児童手当支給額が見込みを下回ったため
	児 童 福 祉 施 設 費			23,862	私立保育所委託料が見込みを下回ったため
生 活 保 護 費	扶 助 費			16,026	生活保護医療扶助費が見込みを下回ったため
災 害 救 助 費	災 害 救 助 費	31,925	応急修理の申請が見込みを下回ったため		
衛 生 費	保 健 衛 生 費	保 健 衛 生 総 務 費	22,589	簡易水道事業特別会計への繰出金が見込みを下回ったため	
		予 防 費	7,294	感染症予防接種の接種者数が見込みを下回ったため	
		環 境 衛 生 費	1,484	職員手当等が見込みを下回ったため	
		診 療 所 費	1,303	へき地診療所特別会計繰出金が見込みを下回ったため	
		清 掃 費	し 尿 処 理 費	3,447	し尿運搬業務委託料が見込みを下回ったため

款	項	目	不用額	理 由
農 林 水 産 業 費	農 業 費	農 業 総 務 費	3,382	職員手当等が見込みを下回ったため
		農 業 振 興 費	7,163	補助金の申請が見込みを下回ったため
		農 地 費	7,544	除雪作業委託料、草刈作業委託料、修繕料、工事請負費が見込みを下回ったため
商 工 費	商 工 費	林 業 振 興 費	1,403	修繕料が見込みを下回ったため
		商 工 振 興 費	8,018	事業者再建支援補助金および災害対策中小企業融資利子補給事業補助金が見込みを下回ったため
土 木 費	土 木 管 理 費	観 光 費	1,616	ボンネットバス活用事業において修繕費や運行委託料が見込みを下回ったため
		土 木 管 理 費	4,364	職員手当等が見込みを下回ったため
	道 路 橋 梁 費	道 路 維 持 費	6,632	道路除雪作業委託料、支障枝木伐採委託料が見込みを下回ったため
		道 路 新 設 改 良 費	7,006	豪雨災害により、繰越事業で予定していた改良工事を見送ったため
	河 川 費	河 川 総 務 費	2,734	県と共同事業で行った河道阻害草木処分料が不要になったため
		河 川 整 備 費	4,756	下原地区内水排除整備事業測量設計委託料、水道排水支障移転補償費及び島木川内水排除整備事業測量設計委託料が見込みを下回ったため
	都 市 計 画 費	都 市 計 画 総 務 費	1,136	主に業務委託料の入札残であり、その他は各細々目の不用額の積み上げによるもの
住 宅 費	下 水 道 費	13,362	下水道事業特別会計への繰出金が見込みを下回ったため	
消 防 費	消 防 費	住 宅 管 理 費	10,821	補助金申請の取り下げがあったため
		常 備 消 防 費	4,049	職員手当が見込みを下回ったため
教 育 費	教 育 総 務 費	非 常 備 消 防 費	1,206	消防団活動報償費が見込みを下回ったため
		事 務 局 費	6,734	スクールバスの維持管理用消耗品及びバスの運行委託料が見込みを下回ったため
	小 学 校 費	学 校 管 理 費	2,222	公衆無線LAN環境整備委託料及び施設等改修工事費が見込みを下回ったため
		教 育 振 興 費	13,204	基金積立金及び扶助費(入学準備費)が見込みを下回ったため
	中 学 校 費	学 校 管 理 費	2,604	公衆無線LAN環境整備委託料及び施設等改修工事費が見込みを下回ったため
		教 育 振 興 費	5,628	扶助費(入学準備費)が見込みを下回ったため
	幼 稚 園 費	幼 稚 園 費	5,413	臨時幼稚園教諭の確保ができなかったため
	社 会 教 育 費	社 会 教 育 総 務 費	19,948	成羽複合施設の設計委託料が見込みを下回ったため
		公 民 館 費	1,435	災害の影響により講座等の開催を一部中止し、報償費、報酬が見込みを下回ったため
		文 化 セ ン タ ー 費	1,914	文化センター施設の維持管理費が見込みを下回ったため
	保 健 体 育 費	体 育 施 設 費	9,931	体育施設の維持管理費が見込みを下回ったため
		学 校 給 食 費	2,479	旧川上中学校施設整備工事費等が見込みを下回ったため 需用費等の経費の削減に努めたため 退職者補充がすぐにはできず臨時職員賃金が見込みを下回ったため 再検査の減少により職員検便検査料が見込みを下回ったため 豪雨災害による断水や臨時休校による給食提供数減により、学校給食米飯差額補助金が見込みを下回ったため
	災 害 復 旧 費	農 林 施 設 災 害 復 旧 費	現 年 補 助 災 害 復 旧 費	5,322
現 年 単 独 災 害 復 旧 費			4,530	予定していた年度内執行箇所が見込みを下回ったため
土 木 施 設 災 害 復 旧 費		現 年 公 共 災 害 復 旧 費	5,687	豪雨により、H29現年災繰越執行予定箇所が増破しH30現年災対応となったため
		現 年 単 独 災 害 復 旧 費	13,861	豪雨により、H29現年災繰越執行予定箇所が増破しH30現年災対応となったため
公 共 施 設 災 害 復 旧 費		公 共 施 設 災 害 復 旧 費	2,771	直営による設計監理費の経費節減及び修繕・工事費が見込みを下回ったため
公 債 費	公 債 費	利 子	2,546	効率的な資金運用に努めたため

高梁市国民健康保険特別会計(事業勘定)

(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
国民健康保険税	国民健康保険税	一般被保険者国民健康保険税	5,856	収納額が見込みを上回ったため
		退職被保険者等国民健康保険税	△ 2,314	収納額が見込みを下回ったため
県支出金	県補助金	保険給付費等交付金	△ 18,328	医療費が見込みを下回ったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 2,255	出産育児費繰入金が見込みを下回ったため
諸収入	延滞金、加算金及び過料	延滞金	1,315	延滞金が見込みを上回ったため

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
保険給付費	療養諸費	一般被保険者療養給付費	37,148	一般被保険者の医療費が見込みを下回ったため
		退職被保険者等療養給付費	9,125	退職被保険者の医療費が見込みを下回ったため
	高額療養費	一般被保険者高額療養費	8,129	一般被保険者の高額療養費が見込みを下回ったため
		退職被保険者等高額療養費	1,896	退職被保険者の高額療養費が見込みを下回ったため
	出産育児諸費	出産育児一時金	2,940	出産育児一時金が見込みを下回ったため
保健事業費	保健事業費	疾病予防費	1,206	人間ドックの補助金が見込みを下回ったため
	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業費	3,660	特定健康診査受診者数が見込みを下回ったため

高梁市へき地診療所特別会計

(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 1,384	診療所の維持管理費及び医業費が見込みを下回ったため

高梁市介護保険特別会計(事業勘定)

(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
介護保険料	介護保険料	第1号被保険者保険料	2,795	収納額が見込みを上回ったため
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 19,802	保険給付費及び地域支援事業費等が見込みを下回り、繰入が減少したため

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	一般管理費	2,039	介護認定に必要な主治医意見書の件数及び嘱託職員認定調査件数が見込みを下回ったため
保険給付費	介護サービス等諸費	居宅介護サービス給付費	14,453	訪問介護、訪問看護、通所介護、福祉用具貸与、短期入所療養介護(老健)等サービスの利用が見込みを下回ったため
		施設介護サービス給付費	9,387	介護老人福祉施設、介護療養型医療施設等サービスの利用が見込みを下回ったため
		地域密着型介護サービス給付費	6,178	小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護等サービスの利用が見込みを下回ったため
	高額医療合算介護サービス等	高額医療合算介護サービス費	6,293	サービスの利用が見込みを下回ったため
	特定入所者介護サービス等	特定入所者介護サービス費	1,281	サービスの利用が見込みを下回ったため
地域支援事業費	介護予防・生活支援サービス事業費	介護予防・生活支援サービス事業費	9,822	事業対象者が見込みを下回ったため
	一般介護予防事業費	一般介護予防事業費	1,040	事業対象者が見込みを下回ったため
	包括的支援等事業費	総合相談事業費	1,075	相談件数が見込みを下回ったため
		包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	1,325	人件費が見込みを下回ったため
		任意事業費	4,780	利用者が見込みを下回ったため

高梁市養護老人ホーム特別会計

(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 3,524	人件費等が見込みを下回ったため
	基金繰入金	基金繰入金	△ 7,127	養護老人ホーム統合改築事業費が見込みを下回ったため
県支出金	県補助金	施設整備費県補助金	△ 106,800	既存の2つの老人ホームの施設解体が、翌年度に繰越となったため
市債	市債	合併特例債	△ 53,200	既存の2つの老人ホームの施設解体が、翌年度に繰越となったため

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
総務費	総務管理費	施設管理費	1,971	人件費等が見込みを下回ったため
	施設整備費	施設整備費	12,461	成羽長寿園の備品購入費などの費用が見込みを下回ったため
施設費	社会福祉施設費	社会福祉施設費	1,653	入所者生活費の経費節減に努めたため

高梁市特別養護老人ホーム特別会計

(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
サ ー ビ ス 収 入	介 護 給 付 費 収 入	施 設 介 護 サ ー ビ ス 収 入	1,264	施設介護サービスの利用実績が見込みを上回ったため
	自 己 負 担 金 収 入	自 己 負 担 金 収 入	1,166	施設介護サービスの利用実績が見込みを上回ったため
繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	△ 6,347	介護サービス収入が見込みを上回り、人件費、需用費等が見込みを下回ったため
	基 金 繰 入 金	基 金 繰 入 金	△ 1,022	介護用品備品購入費が見込みを下回ったため

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
総 務 費	総 務 管 理 費	一 般 管 理 費	1,634	人件費等が見込みを下回ったため
サ ー ビ ス 事 業 費	施 設 介 護 サ ー ビ ス 事 業 費	施 設 介 護 サ ー ビ ス 事 業 費	1,433	需用費等の経費節減に努めたため

高梁市住宅新築資金等貸付事業特別会計

(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
諸 収 入	貸 付 金 元 利 収 入	貸 付 金 元 利 収 入	△ 70,756	現年度および過年度の償還金について未納があったため

高梁市簡易水道事業特別会計

(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
使 用 料 及 び 手 数 料	使 用 料	衛 生 使 用 料	1,121	簡易水道使用料が見込みを上回ったため
国 庫 支 出 金	国 庫 負 担 金	災 害 復 旧 費 国 庫 負 担 金	△ 70,833	繰越措置による
繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	一 般 会 計 繰 入 金	△ 10,262	整備工事費、新規給水取出工事費、修繕工事費が見込みを下回ったこと、及び繰越措置による
諸 収 入	雑 入	雑 入	△ 1,210	配水管移設補償金が見込みを下回ったため
市 債	市 債	簡 易 水 道 新 設 改 良 事 業 債	△ 9,500	簡易水道整備工事費が見込みを下回ったため
		災 害 復 旧 債	△ 39,900	繰越措置による

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
衛 生 費	簡 易 水 道 費	簡 易 水 道 総 務 費	1,400	職員手当が見込みを下回ったため
		簡 易 水 道 施 設 費	10,839	新規給水取出工事費、修繕工事費が見込みを下回ったため
		簡 易 水 道 新 設 改 良 事 業 費	7,989	簡易水道整備工事費の減による

高梁市下水道事業特別会計
(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
使用料及び手数料	使用料	下水道使用料	6,957	下水道使用料が見込みを上回ったため
国庫支出金	国庫補助金	公共下水道事業費国庫補助金	△ 79,248	繰越措置による
	国庫負担金	災害復旧費国庫負担金	△ 236,641	繰越措置による
繰入金	一般会計繰入金	一般会計繰入金	△ 13,362	維持管理費の経費節減に努めたこと、及び修繕工事費が見込みを下回ったため
市債	市債	下水道事業債	△ 91,800	繰越措置による
		災害復旧債	△ 149,200	繰越措置による

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
公共下水道事業費	施設管理費	管渠管理費	8,381	修繕工事費が見込みを下回ったため
		ポンプ場管理費	1,466	修繕工事費が見込みを下回ったため
		処理場管理費	1,824	薬品等購入費が見込みを下回ったため
	施設整備費	施設整備費	2,511	汚水管・雨水管布設工事費が見込みを下回ったため
特定環境保全公共下水道事業費	施設管理費	管渠管理費	3,263	修繕工事費が見込みを下回ったため

高梁市地域開発事業特別会計
(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
宅地造成事業費	造成事業費	造成事業費	1,255	工事請負費が見込みを下回ったため

高梁市後期高齢者医療特別会計
(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
後期高齢者医療保険料	後期高齢者医療保険料	後期高齢者医療保険料	△ 2,105	収納額が見込みを下回ったため
繰入金	一般会計繰入金	保健事業繰入金	△ 1,254	岡山県後期高齢者医療広域連合からの補助金が増額し(交付要綱の改正による)、一般会計からの繰入金が減少したため

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	3,692	納付額が見込みを下回ったため

高梁市宇治財産区特別会計
(歳 入)

款	項	目	過不足額	理 由
財 産 収 入	財 産 売 払 収 入	不 動 産 売 払 収 入	△ 1,200	立木販売に適した林地がなく収入間伐ができなかったため
繰 越 金	繰 越 金	繰 越 金	1,021	前年度繰越が見込みを上回ったため

(歳 出)

款	項	目	不用額	理 由
財 産 費	財 産 費	財 産 管 理 費	3,670	間伐等事業適地がなく事業が行えなかったため